

令和4年度調査研究フォーラムについて

協会けんぽ加入者の健康増進や医療費適正化等の取組、その取組のベースとなる調査研究で得られた知見を内外に発信するため、下記のとおり調査研究フォーラムを開催する。

【日 時】 令和4年6月8日(水)

【会 場】 一橋講堂(当日、動画配信を実施予定)

【テーマ】 持続可能な医療保険制度を目指して

【講 演】 1. 外部有識者を活用した委託研究(第I期)

①慶應義塾大学 勝川 史憲 教授

「機械学習による生活習慣病の医療費分析および発症予測と特定保健指導の効果判定に関する研究」

②大阪大学 磯 博康 教授

「生活習慣病の重症化ハイリスク者における医療機関受療による予防効果に関するコホート研究」

③名古屋大学 中村 さやか 准教授

「医療費の地域・医療機関・業種間の差異の実態解明:健康状態と治療の質を考慮した医療費適正化を目指して」

④京都大学 福間 真悟 特定准教授

「エビデンスに基づく保険者機能の強化:ラーニング・ヘルスシステム」

2. 本部・支部による分析・取組事例

①宮城支部 「要治療者の受診行動の有無による医療費推移等に関する研究」

②広島支部 「糖尿病治療中断者の背景及び再受診を促す方法の考察」

③福岡支部 「特定保健指導未実施者への健診前ナッジ通知の効果」

④本部 「協会けんぽの薬剤費の構造と薬価改定の影響に関する分析」

※この他、ポスター発表5件(北海道支部、秋田支部、兵庫支部、奈良支部、宮崎支部)